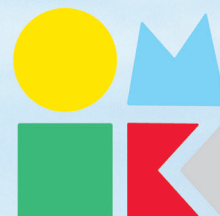


# ものづくり×アートの 新しいアートイベントを 作ります



OMIKA  
ART  
PROJECT



## 2022年 星と海の芸術祭 開催概要

「星と海の芸術祭」は茨城県日立市大みか町の企業や町工場とともに芸術作品を制作し、星（歴史）と海（自然）に混ざりあい展示していくアートイベントです。茨城県日立市大みか町の企業や町工場と、東京芸術大学の学生が、ともに作り上げる「星と海の芸術祭」を2022年の夏、開催します。「ものづくり×アート」のまちづくりを目指す「おおみかアートプロジェクト」の第一歩です。

### まちにアートという非日常の体験を「搬入」したい！

2022年は、JR大甕駅前の駐車場を中心にまちへ作品を持ち込みます。

幅100mの敷地に大型作品を仮設するとともに、駅前からまちへ飛び出す大みか町ツアーなどのワークショップを開催します。

開催時期：2022年8月

開催場所：茨城県日立市大みか町（JR大甕駅西口駅前＋久慈漁港と久慈浜海水浴場）

主催：おおみかアートプロジェクト

参加アーティスト（※1月21日時点）：東弘一郎 浅野ひかり 小山真徳 關田重太郎 鷹取詩穂 林奈緒子 深田拓哉

### ものづくり×アートによる新たなまちづくり

大みか町は、茨城県北部に位置するまちです。古くは紀元前660年から星にまつわる大甕神社があり、現在は企業城下町として発展した地域としても知られています。海岸地域は海水浴場として有名であり、海岸や山の自然風景と、神社や漁港、工場などの人工風景がコンパクトにまとまったエリアです。しかしながら、大みか町は日常的に多くの学生、会社員の往来があるのに、神社の歴史も、町工場や職の技術力も、あまり知られていません。ものづくりの技術を持つこの大みか町なら、アーティストと地域の人と一緒にアート祭を作りながらまちの魅力を発信できるのではないだろうか。そんな思いから、大みか町の歴史・自然と工業を、地域の人たちと一緒に可視化する形でつなぎなおす「ものづくり×アート」による新たなまちづくりのチャレンジが始まりました。

### 星と海の芸術祭のチャレンジ

今年の8月中旬に開催を予定している「星と海の芸術祭」は全くゼロからのチャレンジです。

あくまでも町工場とアートを用いたまちづくりの入り口であり、イベントの開催自体が目的ではありません。

まずは地域に設置するアート作品などを通じて日立市大みか町を知ってもらうことで、長期的に地域の活性化につながると考えています。

### 芸術祭は今年だけで終わりではありません

来年以降も地域との関わり方をより拡張しながら複数回開催することにより、地域に芸術祭で使用した作品を残していく活動を行います。

設置作品・設置場所ををさらに点在させ、アートのある日常風景を作り上げていきます。2022年開催後も、私たちは継続的にアートを通じたまちづくりを継続していきます。



# 参加アーティスト

2022年 星と海の芸術祭に参加予定のアーティストを紹介します！  
東、關田、浅野の運営メンバーに加えて、現役で活動している4人のアーティストの参加が決定しました。今後の状況次第では、他の作家も声を掛ける予定です。



## 關田 重太郎

2000年東京都生まれ。  
東京藝術大学美術学部 建築科在籍中。建築の目線から、アートによる場づくりの実践に向け、芸術祭の設計に取り組む。安宅賞奨学基金採択。建築新人戦 2020 優秀賞。



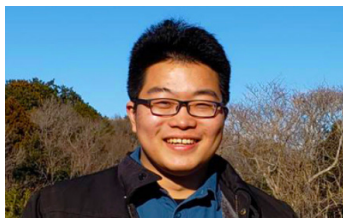
## 小山 真徳

1981年 愛知県生まれ。小山真徳は旅人の視点を軸に制作している。「よそ者」として訪れた土地において、生活者が普段見出すことのない置き去りにされたものたちに、深い共感を寄せる。手製の小さな土産品から伝説上のモノたちが具現化したような巨大な立体まで表現は多岐にわたる。声高ではないが、古くから土地に存在する信仰と祝祭の気配を纏いつつ、うらぶれた場所にそれら作品は出現する。



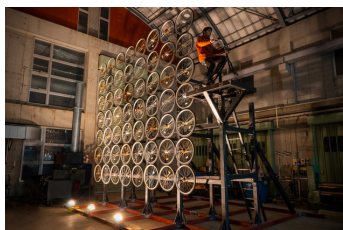
## 深田 拓哉

1995年 東京都生まれ。金沢美術工芸大学彫刻専攻卒業。同大学院修了。「僕はよく、車で旅に出ます。その行く道の風景の端々にあるものたちは、忘れ去られながら、その場所に在り続けます。僕はそのものたちを「未来の遺跡」と名前をつけました。僕は未来の遺跡候補を見つけては、形に起こすことで、人間の意識の外にある、人間の周辺の世界の在り方などを再認識することができるのではないかと考えています。」



## 東 弘一郎

星と海の芸術祭 総合ディレクター。  
1998年 東京都生まれ。アーティスト。東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科卒業。同大学院 在籍中。自転車と金属を組み合わせて、主に動く立体作品を制作している。宮田亮平賞受賞。第24回岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞) 入選。



## 浅野 ひかり

1996年 岩手県生まれ。  
アーティスト、デザイナー。東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科卒業。同大学院 GAP 専攻在籍中。木材を用いて和室や建具などのインスタレーション作品を制作している。鑑賞者同士のコミュニケーションが生まれるような作品作りを目指している。平成藝術賞受賞。公益財団法人 富山文化財団奨学金 採択。小須戸 ART プロジェクト 2021 参加。



## 林 奈緒子

1983年 兵庫県生まれ。  
東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。東京藝術大学卒業制作作品買い上げ。東京藝術大学修了制作展サロン・ド・プランタン賞、杜の会賞受賞。主な展示にTURN 茶会 (国立国際美術館)、ハバナ・ビエンナーレ (キューバ) など。糸口としての技法とそこから手繰り寄せられるもの、そしてひとの間を縫って織りなされる大きなかたちに興味がある。



## 鷹取 詩穂

1999年 福岡県生まれ。  
東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科在籍中。立体、映像などのメディアを主に扱う。物理的または精神的に距離を感じる事象と自身の身体を重ね合わせることで、生じるずれや当事者性について問いかける制作を行う。





# 1月28日(金)よりクラファンが開始します!!

「星と海の芸術祭」Motion Gallery

[https://motion-gallery.net/projects/omika\\_art\\_project/](https://motion-gallery.net/projects/omika_art_project/)

## クラウドファンディングとは？

「クラウドファンディング (クラファン)」とは「群衆 (Crowd)」と「資金調達 (Funding)」という言葉を組み合わせた造語で、インターネット上で不特定多数の人に資金提供を呼びかけ、サービスや商品の趣旨・個人の想いに賛同した人から資金を集める方法です。

資金を集めたい人はプロジェクトを作るため、起案者と呼ばれます。そして起案者に資金提供する人は賛同者や支援者と呼ばれます。

起案者はクラウドファンディングのサイトに自身のアイデアやサービスを掲載してプロジェクトを開始します。

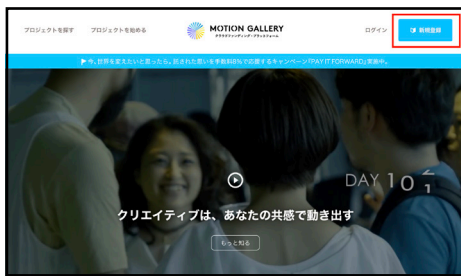
支援者は自分のお気に入りのプロジェクトを見つけ、サイトを通じて起案者に資金を提供する仕組みになっています。

## 支援金の用途

ご支援いただいたお金は、星と海の芸術祭運営費、広報費、作家へのアーティストフィー、地域町工場への依頼費用のほか、おおみかアートプロジェクトの活動費に当てさせていただきます。小さな団体ではありますが、今後も継続的に大みか町でアートを通じたまちづくりを行いたいと考えております。

## 「星と海の芸術祭」ご支援の手順について

※クラウドファンディングの運営会社 Motion Gallery が提供するサービスを利用します



① Motion Gallery のトップページ右上にある「新規登録」をクリックします



②登録するメールアドレスを記入して、「登録する」をクリックする



③ Motion Gallery から本登録に進むためのリンクが入力したメールアドレスに届きます



④会員登録するお名前や、ご支援した際に掲載されるニックネーム、パスワードを記入します。記入したら、「利用規約に同意する」にチェックを入れて、「登録を完了する」をクリックする。これで**会員登録が完了**です！



⑤ Motion Gallery 内の「星と海の芸術祭」のクラファンページへ移動します。Motion Gallery ページの「プロジェクトを探す」から、「星と海の芸術祭」の検索からでも辿り着けます。



⑥「星と海の芸術祭」トップページ右側に並ぶ「リターンを選ぶ」から、ご支援されるコース(金額)をクリックします。(4800円～149,800円のコースをご用意しています)



⑦クレジットカード、銀行振込、コンビニ支払いからご希望のお支払い方法を選び、クリックする



⑧ ⑦で選んだお支払い方法に関する必要情報を画面に沿って入力します。

⑨ リターン内容、お支払い情報、お届け先住所などの内容を確認します。「この内容で応援する」をクリックして**完了**です！

お礼のリターン品の到着までお待ち下さい！  
またいただいた支援金は芸術祭の運営や、アーティストフィー、広報費などに充てさせていただきます。